

株式会社ハイパーボックス
おまかせサーバサービス

専用サーバプランご利用マニュアル

この度は弊社サービスをご利用頂き、誠にありがとうございます。このマニュアルには、専用サーバプランのご利用方法や注意事項を記載しております。また専用サーバの仕様につきましても記載しておりますので、あわせてご利用下さい。

サービスについてご不明な点がございましたら、おまかせサーバサービスセンタまで、お気軽にお問い合わせ下さい。

おまかせサーバサービスセンタお問い合わせ一覧	
Web サイト (会員専用ページ)	http://member.omakase.jp/
一般的なお問い合わせ	info@omakase.jp
技術的なお問い合わせ	tech@omakase.jp
登録に関するお問い合わせ	reg@omakase.jp
サービスセンタ 電話番号	03-5304-8163
サービスセンタ FAX 番号	03-5304-8162
書類送付先	〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-33-4 5F 株式会社ハイパーボックス おまかせサーバサービスセンタ宛

専用サーバプランマニュアル目次

■ サーバの仕様	4
◆ サーバ OS について	4
◆ プランの特長	4
■ Web サービスの仕様	5
◆ Web アクセス方法	5
◆ ファイル名の指定がないアクセス	5
◆ サーバエラーの種類	6
◆ 利用可能なディスク容量	6
■ FTP サービスの仕様	7
◆ FTP ログイン情報	7
◆ ディレクトリ構成	8
◆ Web アクセスログ	8
◆ FTP ソフトウェア	9
◆ FTP アクセス制限ファイル設置方法	9
◆ FTP アクセス制限ファイルの無効化	11
■ CGI(Perl)/PHP の動作環境	12
◆ 利用上の注意事項	12
◆ 拡張子について	12
◆ バージョンと各種コマンドパス	13
◆ 拡張子について	14
■ アクセスカウンタの設置	14
◆ アクセスカウンタの機能	14
◆ アクセスカウンタ設置方法	14
◆ 日付/時刻表示の方法	16
◆ アクセスカウンタ利用上の注意	16
■ データベース	17

- ◆ MySQL と phpMyAdmin 17
- ◆ ご利用上の注意事項 18
- ◆ データベース上のデータについて 19
 - ✦ phpMyAdmin 経由によるデータベースのバックアップ方法 19
 - ✦ phpMyAdmin 経由によるバックアップデータのリストア 21
- メールサービスの仕様 24
 - ◆ メールサービス 24
 - ✦ メールの受信 24
 - ✦ メールの送信 25
 - ◆ 利用可能なディスク容量 26
 - ◆ 送受信の最大サイズ 26
- メールアドレスの追加/削除/変更 27
 - ◆ アカウント追加/削除/変更の手続き 27
 - ◆ 会員専用ページからの申請 27
- メールソフトへの設定 28
 - ◆ 設定に必要な設定 28
 - ◆ メールソフトのサポートについて 28

■ サーバの仕様

● サーバ OS について

Web サービス用サーバに採用している OS は Linux ベースの Turbo Linux Appliance Server2.0 となります。提供されるサービスは、Web サービス、Mail サービスです。

● プランの特長

専用サーバプランは、お客様で 1 台のサーバを占有していただくプランとなります。他プランのような複数のお客様で 1 台のサーバをご利用頂く共有サーバ形式と異なり、他お客様の影響を受けることなく、運用頂くことが可能です。

■ Web サービスの仕様

● Web アクセス方法

Web サービスでは、標準のホスト名として[www]にてサービスを提供しております。WWW ブラウザでアクセスする際には、[http://www.お客様ご利用ドメイン名/]となります。

http://www.お客様ご利用ドメイン名/

専用サーバにアップロードしたディレクトリやファイルは、上記 URL にてアクセスが可能となります。

● ファイル名の指定がないアクセス

URL が[/]で終わるアクセスのようにファイル名の指定がない場合、自動的に[index.html]を参照します。[index.html]が存在しない場合、以下のような順序でファイルを参照し、いずれも存在しなかった場合には 404 File Not Found エラーが発生します。

Directly Index	
優先順位	参照ファイル名
1	http://www.お客様ご利用ドメイン名/ index.html
2	http://www.お客様ご利用ドメイン名/ index.htm
3	http://www.お客様ご利用ドメイン名/ index.shtml
4	http://www.お客様ご利用ドメイン名/ home.html
5	http://www.お客様ご利用ドメイン名/ home.shtml
6	http://www.お客様ご利用ドメイン名/ default.html
--	上記いずれのファイルも存在しない場合、404 File Not Found エラー

サーバは、大文字/小文字を区別しており、異なる文字列と認識します。例えば、[INDEX.HTML] や[Index.Html]は、[index.html]と同等ではありませんので、ご注意ください。

◆ サーバエラーの種類

アクセスしたディレクトリ/ファイルが存在しない、アクセス禁止設定になっている場合など、サーバはエラーを発生します。

サーバエラーの種類		
エラーコード	内容	対処方法
403 Forbidden	アクセスを禁止する状態(実行権限)に設定されています	実行権限を[644]にするなどの変更して下さい
404 Not Found	アクセスしたファイルが見つかりません	アクセス先ファイル名の確認、またはアップロードして下さい
500 Internal Server Error	CGIのエラーが発生しています	実行権限の確認、CGI スクリプトの確認を実施して下さい

エラーが発生した場合には、発生しているエラー内容をご参照の上、適切な対応を行って頂く必要があります。これらのエラーは、ご利用頂いているサーバ側での障害ではありません。

◆ 利用可能なディスク容量

Web サイトコンテンツデータは、利用可能ディスク容量以下である必要があります。利用可能ディスク容量は、Web サイトコンテンツデータ専用で 20GB です。

利用可能ディスク容量を超過すると、新規ファイルをアップロード出来ない、CGI/PHP 経由で行われるファイル操作に失敗し、該当ファイルがゼロクリアされるなどの予期せぬ不具合が発生致します。現在のサーバ上に存在するデータ量を確認されたい場合には、恐れ入りますが、都度、弊社までお問い合わせ下さい。

FTP ソフトによってはサーバ上に存在するファイルデータを計算出来る仕組みを持っています。この場合、計算内容や仕様によって、FTP ソフトの結果とサーバ側の実使用ディスク容量は異なることが多々あります。一般的に、FTP ソフトの計算結果の、1.2~1.5 倍程度の容量が、サーバ側の実使用ディスク容量となります。

■ FTP サービスの仕様

◆ FTP ログイン情報

専用サーバに HTML ファイルや画像ファイルをアップロードするためには、FTP クライアントソフト(以下、FTP ソフト)を使い、サーバにログインする必要があります。FTP ログインに必要な情報は、

FTP ホスト名(www.お客様ドメイン名)
FTP ログイン名
FTP ログインユーザのパスワード

となります。ご契約時の書類に上記情報が記載されておりますのでご確認ください。外部業者の方にホームページ作成を依頼される際など、必要に応じて上記情報をお伝え頂くこととなりますが、ログイン情報の管理は厳重に行って下さい。

公開するファイルは、必ず[/web]にアップロードして下さい(ディレクトリ構成図をご参照下さい)。FTP ログイン後、ディレクトリを3階層上って頂いた[/]にある[web]ディレクトリとなります。

FTP では、アップロードの他に、データのダウンロードも可能です。サーバ上に存在するデータは、定期的にバックアップを必ず行って下さい。

FTP ソフトによっては、FTP ログイン時に指定されたディレクトリへ移動する機能を持っています。FTP ソフトによって機能の名称が異なりますが、ホストの初期フォルダ、ホスト開始フォルダ、保存ディレクトリなどと呼ばれています。この機能がある場合には、

../../web

と指定頂くことで、FTP ログイン時、自動的に[/web]に移動することが可能です。この機能については、お手持ちの FTP ソフトマニュアルをご参照下さい。

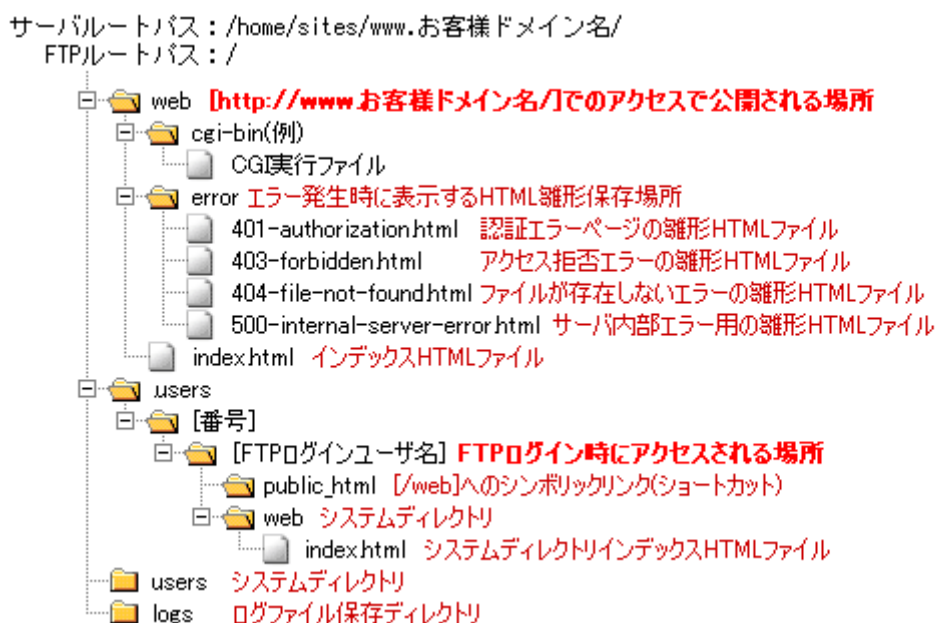
◆ ディレクトリ構成

ディレクトリとは、ファイルを分類・整理するための保管場所です。Microsoft Windows や、Apple Mac OS では、同様の概念をフォルダと呼びます。

サーバ内部のディレクトリ構成は下図のようになっております。これらは、FTP ソフトウェアでサーバにログインし、Web コンテンツファイルなどをアップロードする際や、管理運用に必要な情報となります。

サーバには初期状態で様々なディレクトリ/ファイルが存在し、役割があります。初期状態で存在するディレクトリは変更しないようご注意ください。

ディレクトリ構成図



◆ Web アクセスログ

[/log]ディレクトリ配下には、[web.log]というファイル名にて、Web アクセスログが保管されております。必要に応じてFTP経由でダウンロードして下さい。Web アクセスログファイルは、50MB~最大200MBまで保存され、gzip形式(web.log.[世代数].gz)にて過去4世代分が存在しております。

アクセスログに関しましては弊社サポート対象外となります。また、弊社都合により削除させて頂く場合もありますので、予めご了承下さい。

◆ FTP ソフトウェア

FTP ソフトとしては、FFFTP、NextFTP、FTP Explorer、Fetch などの他、IBM ホームページビルダー、Adobe Dreamweaver などの Web サイト構築ソフトにも FTP 機能があります。

弊社では、FTP ソフトを提供しておりませんので、別途ご用意下さい。FTP ソフトの使用方法につきましては、開発/販売元へお問い合わせ下さい。

◆ FTP アクセス制限ファイル設置方法

対象のディレクトリに “.ftpassess” ファイルを設置することで、FTP アクセス制限が可能です。

“.ftpassess” の設定については下記設定手順をご参考にして下さい。

FTP アクセス制限については弊社サポート対象外となりますのでご了承下さい。

※ 注意事項

- FTP アクセス制限はウェブサイトの運用に影響を及ぼす場合がございます。
- [.ftpassess]は、設置したディレクトリ配下全てに有効となります。
仮に [/] (ルートディレクトリ) 内に設置した場合、ユーザ用のディレクトリも影響を受けます。
- 許可する IP アドレス/ホスト名を誤って設置すると FTP での操作 (リスト表示、PUT、GET) が出来なくなる可能性があります。

【設定手順】

1. FTP アクセスを許可する IP アドレスやホスト名を確認します。
2. メモ帳などのテキストエディタを起動し、以下のフォーマットに従い、内容を記述して下さい。
Allow from { 接続元情報 }に許可する IP アドレスやホスト名などを記述していきます。
Allow from に続いて記述された接続元のみ FTP アクセスが許可されます。

【.ftppass フォーマット】

```
<Limit ALL>
  Order Allow,Deny
  Allow from { 接続元情報 }
  Deny from all
</Limit>
```

【Allow from { 接続元情報 } の記述 (例)】

```
Allow from グローバル IP アドレス
```

- ・グローバル IP アドレスから FTP アクセスを許可します。
接続元が固定グローバル IP アドレスの場合に有効です。

```
Allow from .jp
```

- ・[.jp]で終わるホスト名に対して、FTP アクセスを許可します。
日本国内の多くのプロバイダが許可されます。
一部の国内プロバイダは[.net]を使うこともありますのでご注意ください。

```
Allow from .tokyo.isp.example.jp
```

- ・[.tokyo.isp.example.jp]で終わるホスト名に対して、FTP アクセスを許可します。
同一プロバイダで特定の地域からのみ許可したい場合に有効です。

3. ファイル名を[ftppass.txt]として保存します。
4. 作成した[ftppass.txt]ファイルを FTP ソフトでサーバにアップロードします。
アップロード先は、制限したいディレクトリ配下とします。
5. アップロード先の[ftppass.txt]について[.ftppass]にファイル名を変更します。
以上で FTP アクセス制限は完了です。
FTP アクセス制限について動作確認を必ず行なうようにして下さい。

◆ FTP アクセス制限ファイルの無効化

“ .ftpassess ” 設置後、FTP の操作が出来なくなった場合、許可する IP アドレスもしくはホスト名を誤って記述した可能性があります。

この場合、お客様側から [.ftpassess] ファイルを修正することはできません。

弊社担当者が [.ftpassess] のファイル名を変更し、制限を無効化致しますので、

以下のメールフォーマットをご記入の上、弊社までご依頼下さい。

また、緊急対応をご希望の場合は、サービスセンタまで電話連絡も合わせてお願いします。

宛先 : tech@omakase.jp

件名 : 「 .ftpassess 」 ファイル名変更依頼

メール本文 : -----ここから-----

顧客(お客様)番号 : ####ご記入下さい####

ご契約ドメイン名 : ####ご記入下さい####

連絡先電話番号 : ####ご記入下さい####

「 .ftpassess 」 を設置したサーバ名 : ####ご記入下さい####

「 .ftpassess 」 を設置したディレクトリ : ####ご記入下さい####

上記ディレクトリ設置 「 .ftpassess 」 のファイル名変更を依頼します。

-----ここまで-----

■ CGI(Perl)/PHP の動作環境

● 利用上の注意事項

専用サーバプランでは、CGI(Perl)/PHP の設置(実行権限の変更が適用されるディレクトリ)に制限はありません。ご都合に合わせたディレクトリに CGI(Perl)/PHP を設置頂くことが出来ます。また、同様に実行権限の変更も行って頂けます。

お客様が設置された CGI(Perl)/PHP スクリプトの動作、内容につきまして、弊社ではサポートしておりません。動作しない場合には、該当 CGI(Perl)/PHP スクリプトの制作元/開発元へお問い合わせ下さい。弊社でのサポートは、専用サーバプランの仕様部分を範囲としております。

お客様が設置された CGI(Perl)/PHP スクリプトが、連続起動などの理由により、ご利用のサーバに対して高い負荷を与えている場合、お客様への事前連絡なしに停止させて頂くことがありますので、予めご了承下さい。

セキュリティホールが存在するような CGI(Perl)/PHP スクリプトを設置された場合、または、シェルアクセスを仮想的に行う CGI(Perl)/PHP スクリプトについては、弊社側で確認次第、お客様の承諾なく弊社側で削除致します。サーバセキュリティの保護にご協力下さい。

● 拡張子について

登録されている拡張子は、以下の通りとなります。

特に SSI の拡張子は[html]では動作致しませんのでご注意ください。

拡張子	
拡張子	説明
.cgi .pl	CGI(Perl)
.php	PHP
.shtml	SSI

◆ バージョンと各種コマンドパス

CGI(Perl)/PHP スクリプトを実行する際に、Perl や Postfix 等サーバ側で用意したプログラムをご利用頂くことが可能です。主なプログラムのパスは下記のようになっております。

Web サーバに導入済みプログラムの仕様

バージョンとサーバパス		
コマンド/ソフトウェア	サーバパス	バージョン
Perl	/usr/bin/perl	5.8.5
Sendmail	/usr/sbin/sendmail	8.13
PHP	/usr/bin/php	4.4.7
NKF	/usr/bin/nkf	2.02
htpasswd	/usr/bin/htpasswd	
uuencode	/usr/bin/uuencode	
uudecode	/usr/bin/uudecode	
MySQL		4.0.20

※2011年2月現在の情報です。

上記以外のプログラムパスが必要な場合、または導入の有無が不明な場合には、弊社までお問い合わせ下さい。

CGI(Perl)は CGI wrapper を通してユーザ権限で実行されます。

サーバのセキュリティ上の理由により、各プログラムは予告無くバージョンアップを実施させて頂く場合があります。

◆ 拡張子について

ご利用頂くサーバにおいて、登録されている拡張子は、以下の通りとなります。特に SSI の拡張子は [html] では動作致しませんのでご注意ください。

拡張子	
拡張子	説明
.cgi .pl	CGI(Perl/PHP)
.php	PHP
.shtml	SSI

■ アクセスカウンタの設置

◆ アクセスカウンタの機能

サイトを訪問された方のアクセス数を計るためのアクセスカウンタを標準で提供しております。アクセスカウンタの機能として、この他に、時刻表示、日時表示が可能です。

◆ アクセスカウンタ設置方法

カウンタを表示させたいページ(HTML ファイル)内に、特定のフォーマットに沿った IMG タグを記述します。

```


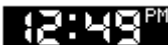




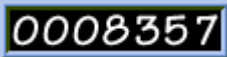
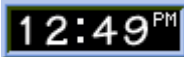
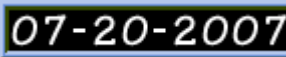
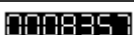
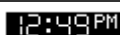

```

※表示の都合上、途中で改行しておりますが、改行する必要はありません、

太文字は、個別に設定を行って頂く必要がある部分となります。各設定項目部分については下記の通りです。

アクセスカウンタ設定	
設定項目	内容
df (ドメイン名)	お客様のご利用頂いているドメイン名をご記入下さい。省略することは出来ません。
md (カウンタ桁数)	カウンタの桁数を、5桁～10桁まで指定が可能です。
dd (デザインスタイル)	A～Eの5種類があります。省略するとデザインAになります。
st (カウント初期値)	カウンタの初期値を指定下さい。省略すると1になります。 この初期値は初回ご利用時のみ有効となります。

アクセスカウンタのデザインスタイルは、AからEの5種類用意しております。お客様サイトデザインに沿ってご利用下さい。

アクセスカウンタデザインスタイル			
デザインスタイル	カウンタ	時刻	日時
dd=A			
dd=B			
dd=C			
dd=D			
dd=E	0008357	12:49P	07-20-2007

例えば、[http://www.example.co.jp/]にて Web サービスをご利用頂いている場合、カウンタ桁数は、7桁、デザインはA、カウント初期値として1024とする際の記述方法は下記のようになります。

```

```

※表示の都合上、途中で改行しておりますが、改行する必要はありません。

サーバでは大文字/小文字を異なる文字として認識します。[count.cgi]ではなく、Cを大文字にして[Count.cgi]と記述して下さい。

◆ 日付/時刻表示の方法

アクセスカウンタにて日付、時刻を表示させることが可能です。なお、どちらもリアルタイムに時間が変わっていく機能はなく、アクセスした日時となります。デザインスタイル以外、個別設定はありません。

時刻表示 :
日付表示 :

◆ アクセスカウンタ利用上の注意

アクセスカウンタは、Web サービスに付属する標準サービスとなります。弊社サービス/サーバ以外ではご利用頂けません。また不具合などについては免責とさせて頂いております。ご了承下さい。

アクセスカウンタ、時刻表示、日時表示は1契約につき1つご利用頂くことが出来ます。複数ページにアクセスカウンタを表示させたい場合は、お客様独自のアクセスカウンタをご利用サーバ内に設置して下さい。また、アクセス解析として利用される場合には、より高度な利用状況が把握出来るログ分析サービスをご検討下さい。

アクセスカウンタは、直前のアクセス元 IP アドレスを記録し、多重カウントを防ぐ仕様となります。このため、連続してリロードしてもカウントアップされません。

アクセスカウンタはreferrer (アクセス参照元情報)を確認しております。訪問された方のセキュリティ設定、WWWブラウザの設定によっては、アクセスカウンタが正常に動作、表示致しません。この場合、カウンタ数値は[88888888]のようになります。

■ データベース

◆ MySQL と phpMyAdmin

専用サーバプランでは、PHP+MySQL による動的なコンテンツの実行環境が導入されています。データベースは、Web サーバに初期状態で 6 つ作成されています。

MySQL を WWW ブラウザから MySQL のテーブル操作/メンテナンスを行って頂くために、phpMyAdmin をご用意しております。phpMyAdmin は下記いずれかの URL でアクセスして下さい。

<http://www.お客様ドメイン名/phpMyAdmin/>
<http://ホスト名.vds.nttls.co.jp/phpMyAdmin/>
<http://IP アドレス/phpMyAdmin/>

(バーチャルホストご利用の場合)

<http://www.追加お客様ドメイン名/phpMyAdmin/>

ユーザ ID/パスワードを求めるダイアログが表示されますので、ログインするデータベースのユーザ ID/パスワードを入力してログインして下さい。MySQL /phpMyAdmin にログインするための情報は、ご利用のサーバに FTP ログインするための情報が元となります。

FTP ログイン名に“-“が含まれる場合には、“-“を削除して頂く必要があります。例えば、FTP ログインユーザ名が[ab-cdftp]の場合、“-“がなくなり、データベース上では[abcdftp]となります。

MySQL ログイン情報

項目名	情報
データベース名	(FTP ログインユーザ名)01~06
接続先	Localhost
データベースユーザ名	(FTP ログインユーザ名)
データベースパスワード	(FTP ログインユーザ名のパスワードと同じ)

phpMyAdmin ログイン情報

項目名	情報
phpMyAdmin ログイン ID	(FTP ログインユーザ名)
phpMyAdmin ログインパスワード	(FTP ログインユーザ名のパスワードと同じ)

例として、お客様にご利用頂いているご利用サーバへの FTP ログインユーザ名が[abcdftp]であった場合には、MySQL にログインするための情報は下記のようになります。

MySQL ログイン情報例	
項目名	情報
データベース名	abcdftp01
接続先	Localhost
データベースユーザ名	abcdftp
データベースパスワード	FTP ユーザ[abcdftp]のパスワード

phpMyAdmin ログイン情報例	
項目名	情報
phpMyAdmin ログイン ID	abcdftp
phpMyAdmin ログインパスワード	FTP ユーザ[abcdftp]のパスワード

◆ ご利用上の注意事項

外部ネットワークからの呼び出しには対応しておらず、[localhost]からの接続のみとなります。また、シェルアクセスは無効となっておりますので、phpMyAdmin 経由で MySQL をご利用下さい。

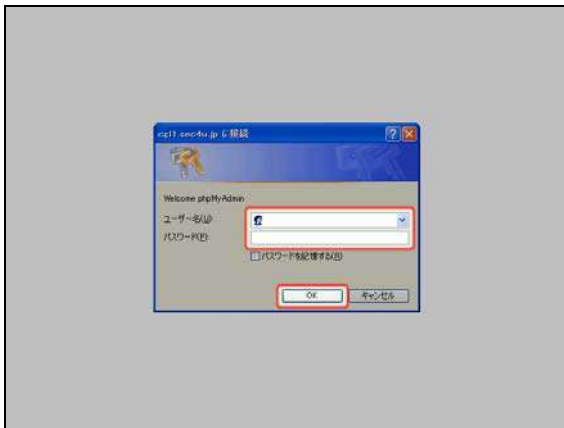
MySQL、並びに、phpMyAdmin のご利用方法につきましては、弊社サポート対象外とさせて頂いております。仕様に関わるお問い合わせのみを承りますので、ご了承下さい。

◆ データベース上のデータについて

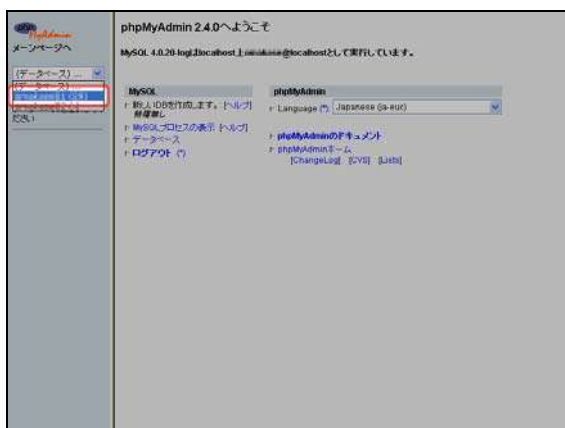
MySQLのデータは、FTP経由からでは操作が不可能な場所に保存されております。そのため、MySQL上のデータは、FTP経由ではなく phpMyAdmin からバックアップして頂く必要があります。

下記の phpMyAdmin 経由からのバックアップ方法をご参照の上、定期的に行って下さいませようよろしくお願い致します。

◆ phpMyAdmin 経由によるデータベースのバックアップ方法

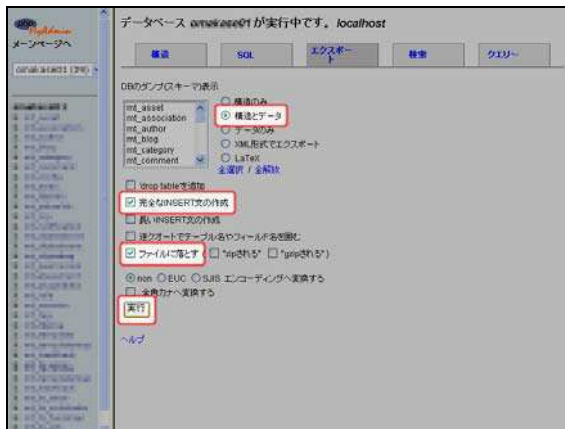


P17 記載の 4 つの URL いずれかを入力し phpMyAdmin へアクセスします。phpMyAdmin のユーザ ID/パスワードを入力し、[OK]をクリックしてログインして下さい。



phpMyAdmin ログイン後、左側メニューより、バックアップするデータベースを選択して下さい。

データベースのバックアップ作業は定期的に行って下さい。

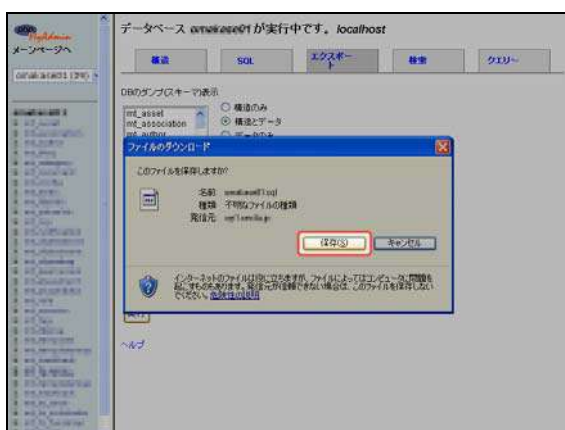


右側タブメニューのエクスポートをクリックして、エクスポート画面に移動します。



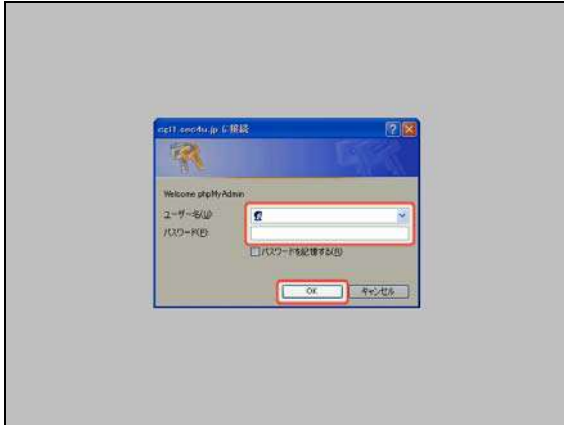
オプションを指定して実行ボタンをクリックします。ファイルに落とすというチェックボックスを有効にしてください。

左の画像はよく使用されるオプションとなります。詳細はMySQL関連の情報をご参照下さい。



保存したファイルが、MySQLデータのバックアップファイルとなります。厳重に保管して下さい。

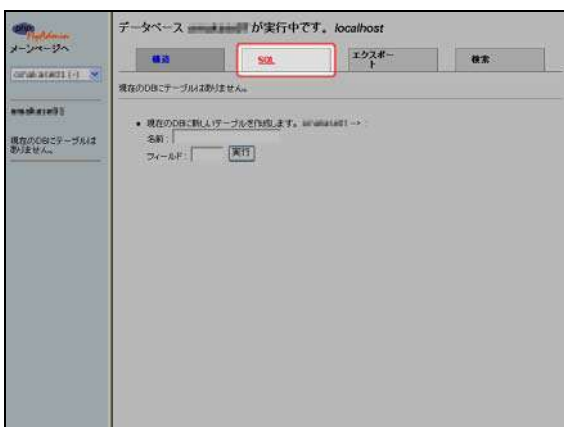
✦ phpMyAdmin 経由によるバックアップデータのリストア



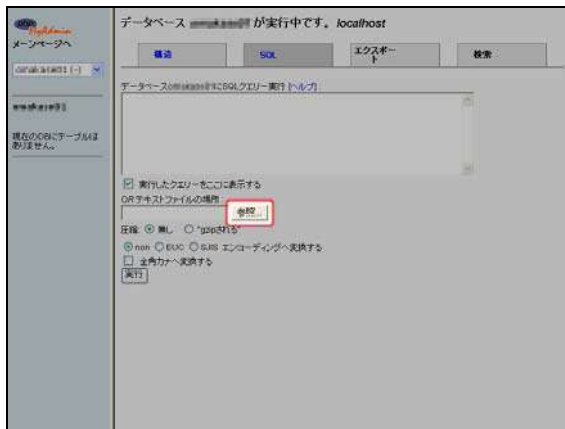
P17 記載の 4 つの URL いずれかを入力し phpMyAdmin へアクセスします。phpMyAdmin のユーザ ID/パスワードを入力し、[OK]をクリックします。



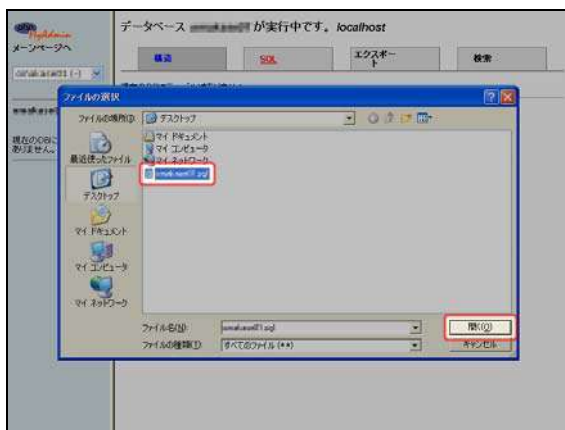
phpMyAdmin ログイン後、左側メニューより、リストアするデータベースを選択して下さい。



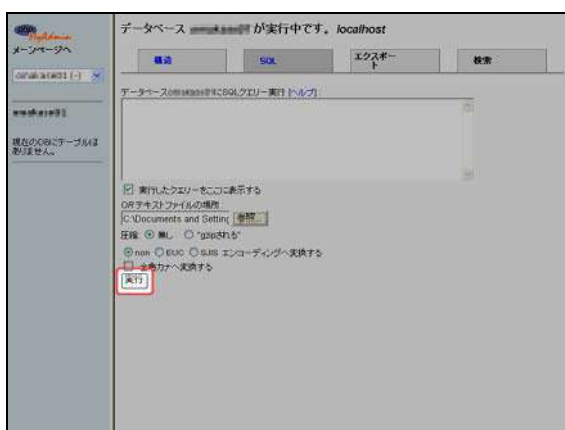
右側タブメニューの SQL をクリックして、SQL 画面に移動します。



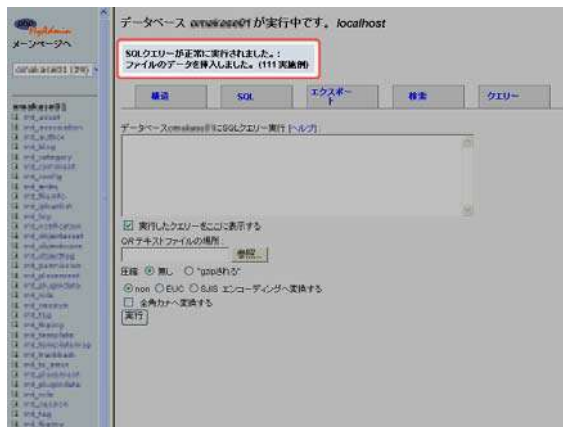
SQL クエリ実行項目にある“OR テキストファイルの場所”から参照ボタンをクリックして下さい。



バックアップしたデータベースファイル(ファイルの拡張子は[sql])を選択して下さい。



その後、実行ボタンをクリックして下さい。バックアップファイルより SQL クエリが読み込まれ、バックアップした状態に復元します。



正常に完了すると、クエリ実行結果が表示されます。以上の作業によってリストア作業の完了となります。

インポート作業は上書きではなく、追記となります。このため、以前のデータが残ったままインポートすることは出来ません。このような場合、既存データを全て削除した上で実行して頂く必要があります。

削除されたデータはサーバ上から元に戻すことは出来ません。インポート作業は慎重に実行していただきますようお願い致します。

インポートした際のデータに文字化けが発生している場合、エクスポートおよびインポートを実施した時にそれぞれ指定した文字コードが異なっている可能性があります。エクスポートおよびインポート作業を行う際に文字コードが同じであることを確認してください。

■ メールサービスの仕様

● メールサービス

Mail サービスでは、お申し込みドメイン名を利用したメールアドレスの受信と送信を行えるサービスを提供しております。ご利用可能なメールアドレスは、

申請した文字列@お客様ドメイン名

の形式になります。@の前部分については、弊社にアカウント変更のご依頼を頂くことで、追加、変更、削除が可能です。

メールソフトにユーザ(メール)アカウントの設定を行って頂くことで、メールの送受信が可能となります。設定に必要な情報は、別途、弊社からの郵送書類をご参照下さい。

✚ メールを受信

受信サービスとして POP3 を標準でご利用頂くことが可能です。ほとんどのメールソフトがこの受信方法に対応しております。

受信メールサーバ	
項目名	設定情報
受信メールサーバ名	pop3.お客様ドメイン名
メールサーバの種類	POP3
使用ポート	110
認証方法	平文パスワード
メールアカウント名	弊社からの郵送書類をご参照下さい
パスワード	弊社からの郵送書類をご参照下さい
受信可能な最大メールサイズ/1通	20MB

受信可能な最大メールサイズはアカウントに割り当てられている空きディスク容量に左右されます。アカウントの割り当てディスク容量は 50MB ですが、空きディスク容量に保存するスペースが存在しない場合、新しいメールを保存することは出来ません。

パスワードは大文字/小文字を区別します。弊社からの郵送させて頂いている設定書類をご参照の上、メールソフトへ正しく設定して下さい。

1つのアカウントに対して、メールの受信作業は重複して行うことは出来ません。多重受信を行った場合、メールソフト側でエラーが発生します。

📧 メールを送信

ご利用頂くメールサーバを介して、メールを送信頂くことが可能です。メールの送信に使用するポートは、25番ポートの他にも、サブミッションポート(587番ポート)をご利用頂くことが可能です。インターネット接続プロバイダの仕様に従って下さい。

第三者からの利用を防ぐセキュリティの一環として、SMTP Auth と POP before SMTP を採用しておりますが、弊社では、より安全な SMTP Auth の利用を推奨しております。

一部のプロバイダは、外部 SMTP サーバの利用を許可していないことがあります。この場合、弊社サーバはご利用頂けませんので、インターネット接続プロバイダから提供される SMTP サーバをご利用下さい。

送信メールサーバ	
項目名	設定情報
送信メールサーバ名	smtp.お客様ドメイン名
使用ポート	25 または 587
SMTP 認証方法	SMTP Auth または POP before SMTP
送信可能な最大メールサイズ/1通	20MB

SMTP Auth 仕様	
項目名	設定情報
利用可能ポート	25 または 587
SMTP Auth 認証方法	POP3 サーバログイン情報と同じ
SMTP Auth パスワード認証方法	Plain

送信可能な最大メールサイズは、送信先のメールアドレスが稼働しているサーバの設定によって拒否されることがあります。この際に発生するエラーメールが、ご利用のアカウントの割り当てディスク容量や利用状況によって受け取ることが出来ない場合もありますので、ご注意ください。

Microsoft Outlook Express など、POP before SMTP に対応していない場合には、SMTP Auth をご利用下さい。

● 利用可能なディスク容量

1 つのメールアドレス(ユーザアカウント)には、最大利用ディスク容量が定められております。専用サーバプランは 50MB です。この最大利用可能なディスク容量を超過すると、新しいメールをサーバ側で保存することが出来ず、From(送信者)にエラーメッセージが返ります。

メールソフトの設定でサーバ上にメールを保存している場合や、添付ファイルを多く受け取られる場合には、利用可能なディスク容量にご注意下さい。

メール1通の送受信可能な最大メールサイズが 20MB である都合上、空きディスク容量によっては、1 通のメールで割り当てディスク容量が超過することがあります。割り当てディスク容量を超過した以降に受け取ったメールは保存することが出来ず、同時に受け取ることが出来ません。

● 送受信の最大サイズ

ご利用頂くサーバでは、1 通のメールにつき、メールのヘッダや本文、添付ファイルを含めて最大 20MB まで送受信頂くことが可能です。

添付ファイルは、テキストデータ (文字列)としてエンコード(置換)されます。このエンコード処理によって、添付ファイルサイズは 1.2~1.5 倍程度にデータ量が増加致します。実際に添付可能なファイルサイズは、13~18MB 程度が上限となりますので、ご留意下さい。

10MB 以上の添付ファイルを送受信することが多々ある場合には、FTP サービスでの代用などをご検討下さい。

■ メールアドレスの追加/削除/変更

● アカウント追加/削除/変更の手続き

メールアドレスの追加、変更、削除は、弊社に申請をして頂く必要があります。平日午後 2 時迄のお申し込み分は、当日中にサーバ設定を行わせて頂きます。午後 2 時以降のお申し込みについては、翌営業日に設定を行います。追加については、利用開始日の指定は出来ませんので、予めご了承下さい。

追加、変更の申請を頂いた場合、サーバ設定完了後に弊社より設定情報をご契約住所へ郵送致します。設定情報をご参照の上、メールソフトへの設定を行って下さい。なお、削除のご依頼については郵送でのご連絡はしておりません。

● 会員専用ページからの申請

アカウント追加/変更/削除の手続きにつきましては、申請フォームを会員専用ページにご用意しております。WWW ブラウザでアクセス後、ログインして頂くことで、申請頂くことが出来ます。

<http://member.omakase.jp/>

会員専用ページでは、アカウント追加/変更/削除申請フォームの他、FAQ(よくあるご質問)などにつきましてもご案内しておりますので、是非ご利用下さい。

■ メールソフトへの設定

● 設定に必要な設定

メールを受信するためには、メールソフトが必要となります。なお弊社ではメールソフトの提供は行っておりませんのでご了承下さい。

よくお問い合わせを頂くメールソフトについて、設定方法をメールソフト設定マニュアルにてご案内しております。別途、ご参照下さい。

● メールソフトのサポートについて

弊社ではメールソフトに関するお問い合わせをサポート対象外とさせて頂いております。メールソフト設定マニュアルをご参照いただくか、お手持ちのメールソフトウェアのマニュアルをご参照下さい。

メールソフトでエラーが発生した場合、設定情報やエラーメッセージなどの情報をあわせて弊社までお問い合わせ下さい。